



歌壇

幼なは朝朝母を見送る

佐瀬 初音

初秋の風吹きぬける矢狭間より

堀の湛えし水照りが見ゆる

洪谷 静子

逃れ逃れし北鮮の川の水を嬰児は

むさぼり飲みてしばし眠りぬ

那須 清江

亡き夫と戸隠詣でに泊りたる

宿はここのりしばし見て佇つ

吉岡 信子

征きし夫つひに還らずそれよりの

姑との修羅の長かりしかな

秋葉 とく

友背負ひ逃げまどるたる向島

火の竜巻きを今に忘れず

池田 春江

ほのぼなしのうぜんかつら咲く中に

ご年配にはなつかしい、わらじの寄付がありました。

雪国育ちの菅野今朝次郎さん(東町)が余暇を利用して作ったもので、当初は近所の方がたにお分けしていたそうですが、大分、数がたまった(約130足)ので、ほしい方に差し上げたいと申し出られたものです。

ご希望の方は、福祉保健課(内線47)にご連絡ください。

なつかしいわらじの寄付

からす揚羽のととまる長し

宇井 ちい

裏庭に木の実を拾ふ番鳩

舞ふも降りるも行動共にす

掛川 友代

夏庭に松明草は燃えさかり

吾の病はいまだ癒えざり

北田 ふじ

早朝に掃除の終り庚申塚

熊手のあとのすがしかりけり

向後 泰治

夏の風吹きゆく庭に驕り咲く

のうぜんかつら庭に明るし

斎藤 要

地球儀を廻して捜す旅の娘の

バンクーバーはいづこなりやと

斎藤 幸子

たたなづく綿雲かすかに動きゆく

水平線の藍の極みを

津田 若菜

車内よりバイバイをする男の孫が

角曲る迄妻は手をふる

萩原 信一

落下傘染めてつくりし産衣にて

祝ひたる息も四十路となりぬ

藤代 ゆう

遥かなるサンタルーチヤの曲流れ

鳥羽の航路の鳥々かすむ

海保 きみ

御門跡の数珠する音のしづけくも

朝勤行の始まらむとす

(選者) 斎藤つね子

私のひとこと



広報よこしば8月号に掲載された「昭和61年度集合税地区別収納状況」を見て驚きました。

それは、私の住む古川地区の滞納額が南部2

に次いで2番目に多く、また収

納率と納税組合

加入率も68地区

のうち59番目と

52番目の順位であ

ったからです。

このような滞納

額の多い古川地区

にもかかわらず、

温情あふれる町

長さんのおかげで、

集会所の建設、道

路の舗装、生活排

水路工事など多くの

事業を実施していただき

ました。

これからは、ただ

要望するだけでなく、

私たちは納税の義務

を果たさなければなら

ないと感じました。

このため古川地区の皆さん

には、①町税は納期限内に納める

ように、②滞納者は税務課

で納税相談を受けるように

③納税組合に加入するように

という内容の回覧文によって

納税を呼びかけました。

最近、権利だけを主張し、

義務を怠る傾向にあるよう

です。最近、権利と義務

が、権利と義務は両立しな

ければならないと思

います。

さて、町では、21世紀に

向けた新たな町づくり

への指針として「横芝町

総合計画」を策定しまし

たが、この計画を実現す

るためには町税が主な財

源となります。

従って、私たち

が納税の義務を履行する

ことによって、総合計画

の基本テーマである「豊

かな自然なぎる活力

そして「心をつなぐ

「まち」を実現するこ

とができるのではないで

しょうか。

納税について

古川特別総務員 島田 繁
古川第八納税組合長